



NILO のドイツ便り

The letter from Germany of NILO

HP:www.officenilo.com

Blog:<http://nilo.officenilo.com/>

No.2 NILO

—去年は暖冬で、2月までは比較的暖かい日も多く、ドイツ人も「今年は暖かいよー」言っていたのですが、去年は10月からすでに冷え込みが厳しく、日差しも少なく、今年はずいぶんと厳しい冬になりました。

ミュンヘンの冬は寒く、朝夕はマイナス20度程度まで冷え込みますが、雪が積もるのはほんのわずかなため、人々は雪深いのには慣れていない様子です。そのため、雪が積もると、東京都心のように交通がマヒしやすく、交通事故もたちまち増えてしまうので、見ているだけでも危なっかしいです。

1

さて、そんな冬もあれよあれよと過ぎ、もう2月、こちらは緯度が高いので、その分春の訪れは早く、3月になると一気に陽が長くなり、空気も変わり、待ちわびていた美しい春が訪れます。

この2月を締めくくる行事は、カーニバルです。

日本でのカーニバルのイメージは、どうしても「リオのカーニバル」なので、こんな寒い国で、雪の降る時期に、カーニバルなんて、あまりイメージができないのではないかと思います。

ドイツは大きく分けて北の地方がプロテスタント、こちらミュンヘンなど南の地域はカトリック教徒の人が大半を占めているので、ブラジルと同じく、カーニバルを祝うわけです。ドイツでは、「ファッシング」と呼ばれていて、仮装をすることを主に、クラブフェンというお菓子（ドイツのジャム入りドーナツ、とでも呼びましょうか）を食べたりします。

とりわけ、ケルンがドイツ国内のカーニバルでは有名で、盛大にお祝いをします。6日間を、ファッシングとしていますが、会社などは通常通り運営している場合がほとんどで、ファッシングディーンスタークという火曜日は、午前のみ営業（銀行、薬局など）というところが多いです。



ミュンヘンは、静かな感じでカーニバルの日々が過ぎて行きますが、この週の日曜日はパーティーを行っているバーなどが多く、それも、伝統によるもので、初日の木曜日、日曜日、その次の火曜日が、主にお祝いをされる日になっています。

そして、灰の水曜日に来て、この日から復活祭前日まで、46日間にわたる断食節に入ります。バイエルン州のカレンダーはこのカトリックのカレンダーで動いているので、祝日はそのように訪れるわけです。日本人の私にとっては多少変な感じがするものです。

ボサノバの有名曲、「カーニバルの朝」は、この灰の水曜日のもの悲しさを歌っていると言われていています。

お祭りの後はいつも、なんともいえない悲しみが残りますよね。

さて、2月も残すところわずかです。風邪をひかずに乗り切り、春を迎えたいですね！
それではまた次回！ Tschüss!

NILO

名前：NILO（ニロ） 1981年7月9日生まれ 北海道出身 シンガーソングライター

プロフィール

- 10代の時知り合った音楽関係者との出会いをきっかけに、音楽の道を志す。
- 会社勤めと一人旅をしばらく続けたのち、2007年にメジャーデビュー。
- ボサノバやジャズのカバーを歌いながら、オリジナル音楽の方向性を模索。
- 2011年よりドイツに移住し、音楽活動を開始。
- 趣味はトライアスロン、サイクリング、ハイキングなどで、バックパックを背負っての旅もライフワーク。

HP:www.officenilo.com Blog:<http://nilo.officenilo.com/>



ニュース

1月23日、約3年ぶりとなるオリジナルミニアルバム、「再生」が発売になりました！

ご予約、ご購入は、各CDショップ（HMV、タワーレコード等）と、オンライン（Amazon.co.jp）で、また、MP3ダウンロードは、iTunesやamazonMP3にてご視聴、ご購入いただけます。NILOの公式サイトでもご視聴いただけますのでご利用ください。

また、配信限定シングル「美しい」が、2012年12月より発売中です。（iTunes, amazonMP3等）こちらもどうぞお聴きください。

